



チーム 育つ・学ぶ

令和4年度

今年度の活動テーマ

- ・不登校児の事例を通して、支援方法や連携の仕方を検討する

活動内容

第1回チーム会議（6/30）

- ・代表者選出（グランメール佐藤さん）
- ・今年度の活動テーマは、昨年度に課題として意見の多かった不登校児への支援となった。
- ・現状の情報共有を行い、通常級にも支援を必要とする児童、グレーゾーンといわれる児童が増えていることが意見として多く上がっている。

第2回チーム会議（9/5）

- ・不登校児の事例を事前に各委員より集め、内容を紹介している。
- ・事例検討は4つのグループに分かれて、情報シートを活用して支援状況の確認、えびなっこサポートファイルの『えびなっこ（わたし）のサポートマップ』を使って情報を整理した。

第3回チーム会議（11/11）

- ・医療的ケア児等コーディネーター研修にグランメールの佐藤さんが参加したことを報告。
- ・事例検討は今後の理想的な支援プランを考え、考えた支援プランの中で現在の海老名市で不足している社会資源をグループ毎に確認し、全体で共有している。

第4回チーム会議（1/13）

- ・不登校児に対する現在の各機関の支援を確認し、前回共有した海老名市内の不足した社会資源と合わせて、今後より良い支援のために必要なことを確認している。
- ・相談やサービスに繋がるための情報シートの変更や更新店について確認。
- ・えびなっこサポートファイルの配布状況と使用状況を確認。

障がい児通所支援事業所連絡会 活動報告

・第1回（7/12） 新規事業所も増えたため、顔合わせと各事業所の課題について情報共有した。人員確保、職員の質の維持、学校との連携、送迎時の安全確保などに課題があるという事業所が多かった。

・第2回（12/9） 1回目の内容を踏まえ、海老名市教育委員会より三村指導主事をお招きし「海老名市の支援教育について」というテーマで、就学相談やトライアングルプロジェクトについて、お話をいただいた。また、合同事業所説明会についての振り返りを行った。



活動を通じての気づき・成果・行政や地域に向けた提案・次年度に向けてなど

1年を通して、不登校児の支援をテーマに、事例を通して現在の海老名市の支援や不足した社会資源を考えてきました。様々なケースを通し、ケースワークをする人がいないこと、連携を働きかけても教育と福祉の現場で連携が不十分なことが分かりました。現在、海老名市には不登校児の受け入れをする事業所の連絡会も設立されていますが、認知度も低い状態です。今後は教育と福祉を結ぶキーパーソンやケースワークをする存在が必要だと思えます。また、教育と福祉の現場が少しずつ交わり連携できるようにな働きかけが必要だと感じました。

今回の活動テーマは上記の報告、提案で一度終了し、次年度は別のテーマを検討します。また、情報シートやえびなっこサポートファイルも配布から1年経過するため、現状の確認や見直しを行いたいと思います。